

証券コード：6748

SEIWA

創意  革新

モノづくりの原点を見つめ、これから変わるもの変わらぬもの。

2020年12月期 第2四半期

2020年11月10日

決算補足資料

皇和電機株式会社

■ 売上高 前年同四半期より8.5%増加

増加：公共設備関連の道路情報表示システムおよびトンネル照明器具、民間設備関連の産業用照明器具

減少：産業用配線保護機材および配管保護機材、電磁波環境対策部品

■ 利益 前年同四半期より減少

照明機器事業は増益だが、情報機器事業およびコンポーネント事業は減益で全体として減益

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2020年12月期 第2四半期	増減	増減率(%)
売上高	9,761	10,589	827	8.5
売上総利益	1,671	1,477	△193	△11.6
販管費	1,738	1,858	119	6.9
営業利益	△66	△380	△313	—
経常利益	△76	△398	△321	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	28	△310	△338	—
自己資本当期純利益率(%)	0.28	△2.90	△3.18PT	—
総資産経常利益率(%)	△0.33	△1.61	△1.28PT	—
売上高営業利益率(%)	△0.68	△3.59	△2.91PT	—

(官需比率)

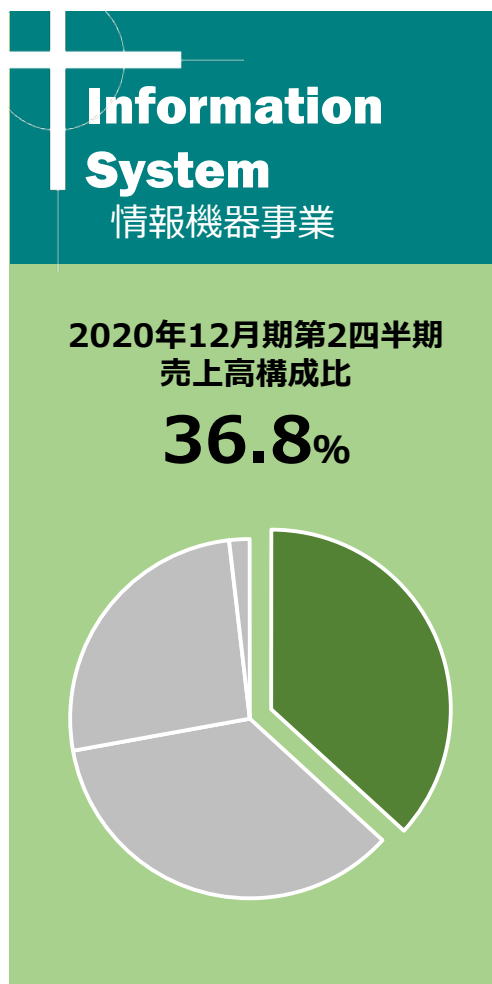
41%

46%

セグメント別の状況 ①情報機器事業

SEIWA

(単位：百万円)



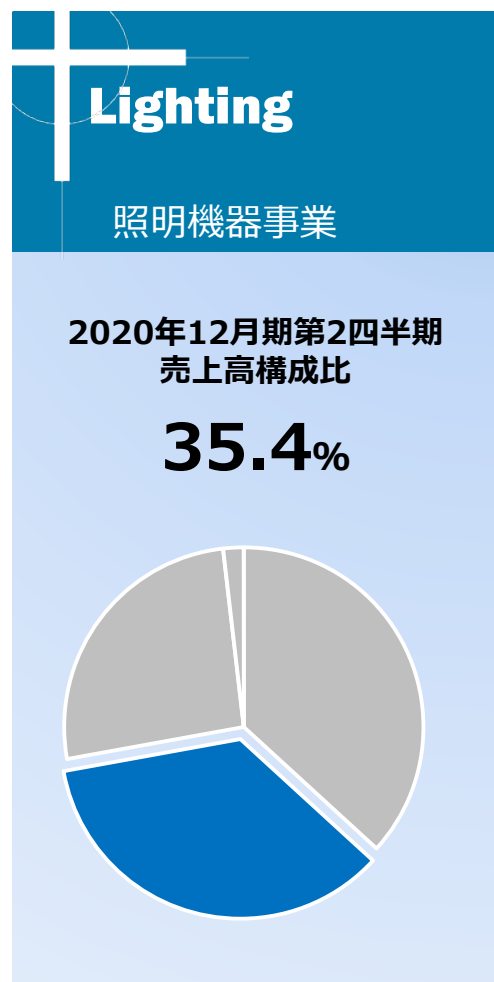
	2020年3月期 第2四半期	2020年12月期 第2四半期	増減	増減率(%)
売上高	3,453	3,895	442	12.8
セグメント利益	△163	△581	△417	-
受注高	4,608	8,956	4,347	94.3
受注残高	9,347	13,697	4,349	46.5

- (売上高) 期初の受注残高が多く、一般道路向けが増加
- (利益) 前年同四半期と比べ売上原価の一時的な上昇により減益
- (受注残高) 前年同四半期と比べ期中の受注が好調に推移し大幅に増加
- 新型コロナウイルス感染拡大による影響はほぼ無し

セグメント別の状況 ②照明機器事業

SEIWA

(単位：百万円)



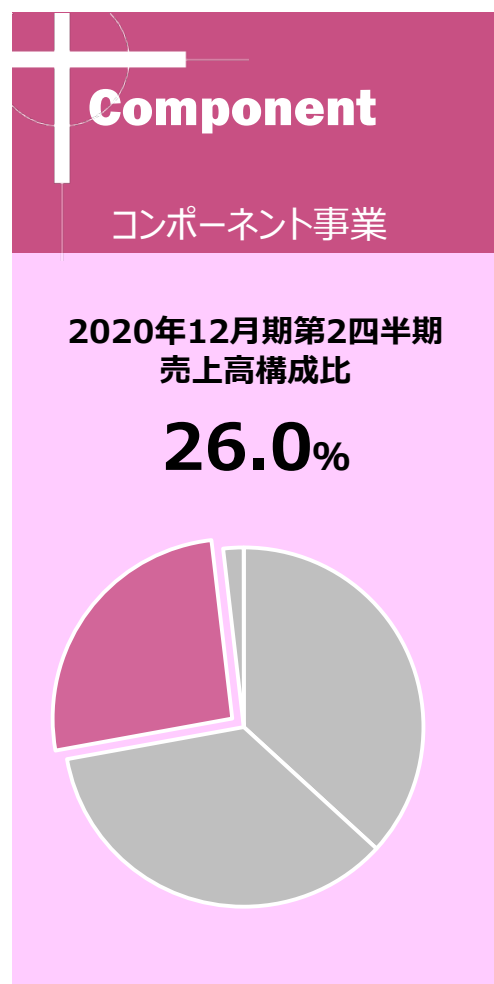
	2020年3月期 第2四半期	2020年12月期 第2四半期	増減	増減率(%)
売上高	3,204	3,744	540	16.9
セグメント利益	159	458	298	186.4
受注高	5,020	3,856	△1,163	△23.2
受注残高	2,490	1,558	△932	△37.4

- (売上高) LED照明器具は堅調、トンネル照明は大幅な増加
- (利益) 売上の増収により増益
- (受注残高) 前年同四半期と比べ受注高の減少に伴い例年並み
- 新型コロナウイルス感染拡大による影響はほぼ無し

セグメント別の状況 ③コンポーネント事業

SEIWA

(単位：百万円)



	2020年3月期 第2四半期	2020年12月期 第2四半期	増減	増減率(%)
売上高	2,905	2,753	△152	△5.2
セグメント利益	462	405	△57	△12.5
受注高	2,913	2,753	△159	△5.5
受注残高	191	232	40	21.2

- (売上高) 産業用配線保護機材、配管保護機材、電磁波環境対策部品が減少
- (利益) 減収により減益
- (受注残高) 前年同四半期と同水準
- 新型コロナウイルス感染拡大により電磁波環境対策部品の売上に影響あり

(単位：百万円)

	2020年3月期 期末	2020年12月期 第2四半期末	増減
資産	29,923	24,797	△5,125
流動資産	22,711	17,735	△4,976
現金及び預金	3,198	3,103	△95
受取手形及び売掛金・電子記録債権	14,882	9,806	△5,076
固定資産	7,211	7,062	△148
負債	18,730	14,047	△4,683
流動負債	16,906	12,727	△4,179
支払手形及び買掛金・電子記録債務	6,096	4,440	△1,656
短期・1年内返済予定長期借入金	8,075	5,964	△2,110
固定負債	1,824	1,320	△504
純資産	11,192	10,750	△441
利益剰余金	3,016	2,508	△507
非支配株主持分	25	23	△1
総資産	29,923	24,797	△5,125
<自己資本比率>	37.3%	43.3%	6PT

減少理由 2020年3月期第4四半期の売上高が例年以上に高かったことによる影響

- (資産) 前期末の売掛債権の回収による減少と仕入債務の支払い及び短期借入金の返済による減少
- (負債) 前期末の仕入債務支払と運転資金(短期借入金)の返済による減少
- (純資産) 親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少と配当金の支払いによる減少

決算期変更について

SEIWA

2020年12月期（当期）より決算期（事業年度の末日）を3月31日→**12月31日**に変更
※決算期が12月31日以外の連結子会社も変更

変更理由

売上高等の季節要因に伴う業績への影響を緩和し、事業運営の効率化を図る

2020年3月期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2019年4月1日～2020年3月31日	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
2020年12月期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	9か月決算
2020年4月1日～2020年12月31日	4～6月	7～9月	10～12月	
2021年12月期～	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2021年1月1日～2021年12月31日	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月

2020年12月期業績見通し①

SEIWA

2020年5月13日に公表した業績予想からの修正：**有**

売上高：通期の売上高は前回発表予想値を上回る見込み。

- ・情報機器事業は期中の受注が予想以上に増加し、高速道路向け工事進行基準を適用する売上が増加する見通し。
- ・照明機器事業はトンネル照明器具の売上が増加する見通し。

(単位：百万円)

	前回発表予想	今回修正予想	増減額	(参考) 2020年3月期 第3四半期
売上高	17,200	17,500	300	15,423
情報機器	7,500	7,700	200	5,883
照明機器	5,500	5,600	100	5,205
コンポーネント	4,000	4,000	—	4,040
その他	200	200	—	294

当期は2020年4月1日から2020年12月31日の9か月間となるため、9か月間の実績である第3四半期連結累計期間の業績を参考値としております。

受注残高 情報機器	2020年3月期末	2020年12月期 第1四半期	2020年12月期 第2四半期
	8,635	11,203	13,697
2019年3月期末	2019年3月期 第1四半期	2019年3月期 第2四半期	
	8,192	9,926	9,347

2020年12月期業績見通し②

SEIWA

2020年5月13日に公表した業績予想からの修正：**有**

利益：売上高の増加による増収に加えて、全事業において諸経費の削減に努めた結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想値を上回る見込み。

(単位：百万円)

	前回発表予想	今回修正予想	増減額	(参考) 2020年3月期 第3四半期
営業利益	300	500	200	114
経常利益	270	480	210	122
親会社株主に帰属する 当期純利益	150	430	280	178

当期は2020年4月1日から2020年12月31日の9か月間となるため、9か月間の実績である第3四半期連結累計期間の業績を参考値としております。

- (設備投資) 主に器具備品や照明器具、樹脂成形品の金型等
- (研究開発) 「省エネルギー」と「人と環境を考えたものづくり」
キーワードは「環境配慮」

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2020年12月期 第2四半期	増減	2020年3月期 第3四半期	2020年12月期 通期予想	増減
設備投資	161	174	13	405	450	203
減価償却費	240	266	26	530	400	21
研究開発費	168	189	20	418	300	21

当期は2020年4月1日から2020年12月31日の9か月間となるため、参考として前期の9か月間の実績である第3四半期連結累計期間の数値を記載しております。

皇和電機株式会社

TEL: 0774-55-8181

FAX: 0774-58-2034

E-mail: info@seiwa.co.jp

<https://www.seiwa.co.jp>

当資料には、2020年11月10日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関するリスクや不確定要素により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。

なお、新型コロナウイルス感染拡大による影響は不確定要素が多く、今後想定外の状況となった場合には将来の業績に影響を与える可能性があります。